

学校経営方針

1 教育方針

校歌の「臨みてここに たくましく 真金の体 鍛うもの」の精神を継承し、高い理想を掲げ、夢・志の実現に向けて挑戦し続け、自らの人生を切り開いていこうとする意志・意欲・態度を育てるとともに、社会の変化に主体的に対応できる、豊かな心を持ち、故郷を誇りに思う奥中生を育てる。

2 校訓

自律・勤勉・融和

3 学校教育目標

助け合い 高め合い 躍動する生徒の育成
自ら鍛える（体）
思いやりの心を持つ（徳）
求めて学ぶ（知）

めざす学校像

- 笑顔あふれる学校
- 夢を語り、感動を味わえる学校
- 地域に開かれた学校

めざす生徒像

- 礼儀正しい生徒
- 自主的に学び、鍛錬する生徒
- 思いやりと感謝の気持ちをもつ生徒

めざす教師像

- 求めて学ぶ教師
- 深い教育愛に溢れた教師
- 常に生徒に寄り添う教師

4 学校経営の基本理念

校訓と校歌に込められた奥浦中学校の歴史と伝統、生徒の実態及び保護者の願い、地域の特性を基盤とし、学校教育目標の達成をめざす。

そのために、全教職員が石垣となり、組織的な教育活動を展開する。

まず、学校課題を明確にし、課題解決のための改善計画を策定し実践することにより、生徒と教職員、保護者と教職員の信頼関係を構築する。

そして、全教職員が人間性と専門性の向上に努め、生徒一人一人のニーズに応じた教育活動を展開し、たくましく生き抜く力の育成を図る学校経営を推進する。

5 学校教育目標について（目指すゴールの姿）

○助け合い

- ・他者を思いやる心を持ち、ことばや行動で示すことができる奥中生
- ・思いやりと感謝の気持ちで、何事にも仲間と力を合わせて取り組む奥中生

○高め合い

- ・学級活動や生徒会活動を積極的に取り組み、自分を高め、仲間と協力して、自己肯定感を育む奥中生
- ・自分を律し、仲間と切磋琢磨して高め合う奥中生
- ・心と体を鍛え、苦難きついことに耐えて、我慢強く取り組む奥中生

○躍動する

- ・勉学に励み、確かな学力を身につけようと努力する奥中生
- ・学校行事、部活動及び地域の行事等に積極的に取り組む奥中生

6 学校経営基本方針

平成30年度の学校経営のキーワード 「信頼と協働」

(1) 学校教育の原点は生徒にある。

「子どもの生命と安全を守る」

(2) 学習意欲を高め、「確かな学力」の定着を図る。

○子どもの心に灯をともし。

- ・身につけた学力を世のため、人のために役立てようとする人づくりをすることが「真の学力」となる。
- ・教師は絶えず研修に励み、高い専門性と指導力を身につけ、学習指導要領に示されている内容を習得させることを責務とする。
- ・「話すこと」「書くこと」の力を身につけさせる。(各学年でゴールの姿を設定)

(3) 地域に開かれた、信頼される学校づくり

○学校は家庭・地域に見守られ、支えられている。地域に開かれた学校づくりを行うことが、信頼される学校となる。

- ・地域の思いは、校訓・校歌にあり、信頼の鍵は子どもの姿にある。
- ・地域行事への積極的な協力を行う。(信頼度は共有する時間に比例する。)
- ・生徒会活動などを通して、地域貢献を積極的に行う。
- ・小学校や家庭・地域と連携を密にして、相互の信頼を高め、地域に開かれた学校をつくる。

(4) 故郷に誇れる学校づくり

○教職員、生徒が共に故郷に誇れる学校づくりを行う。

- ・自分の居場所がある、自分を認めてもらうことができる、生活の目標がある。
- ・いじめがない、友達の愛情がある、先生の愛情がある、居心地がよい、がんばれる。
- ・自分が好き、友達が好き、先生が好き、学校が好き、奥浦が好き、五島が好き。
- ・感動と喜びを味わい、分かち合う学校

(5) 思いやりのある人づくり

○心豊かで思いやりの気持ちをもつ人づくりを行う。

- ・仲間を敬い、助け合い、高め合う道徳的実践を行う。
 - ・思いやりの気持ちを積極的にことばや行動で示す。
- (6) 全職員の信頼と協働により、組織力を高める
- 私たちは「チーム奥中」である。教師としての誇りと使命感を持ち、信頼される教師、組織の一員であり、組織として動くことを意識する。
- ・子どもは親にとって大事な宝である。教師にとっても大事な宝である。一人一人を大切にしたい指導を行う。
 - ・サービスの厳正を図り、不祥事を絶対に起こさないという自覚と責任を持つ。

7 ゴールの姿を意識したチーム奥中であるために

- (1) ゴールの姿を意識して共通理解、共通実践…職朝、職員会議で確認
- (2) 生徒を見取る感性を持つ。
- (3) 気になることはすぐに報告・連絡・相談の徹底をする。
- (4) 生徒を中心に据えて物事を考えて、実践する。「生徒の安全・安心が最優先」
- (5) 生徒をほめて伸ばすことを第一にして考える。「ほめるときにはみんなの前で」「指導は他の子どもにわからぬよう」
- (6) 必要なことは記録に残す。(評価、引き継ぎ、説明責任)
- (7) 学校評価、反省をもとにした学校運営、校務分掌の実践。

8 本年度の努力事項及び具体的推進方策

項目と努力目標	努力事項及び具体的推進方策
(1) 教科等の指導 ①教科指導 ・主体的に学び・考え、的確に表現できる生徒の育成を図る。 ・家庭学習を習慣化する生徒の育成を図る。	①学力定着（表現力育成）のための指導法の工夫 ・言語活動を意識した授業の実践研究 ・情報をもとに考え、的確な表現を用いて表現させる。 ・授業中に「書く」「話す」等の時間を設定する。 ・個に応じた支援（教材の工夫等） ・学習規律の確立（返事、発表、姿勢等） ・OK!OKUURA、スリップ®学習の推進 ・ICT機器を活用した授業の工夫 ②家庭学習の習慣化 ・「家庭学習の手引き」の活用 ・学習状況の確認と丁寧な添削指導 ・家庭学習に対する保護者との連携・協力
(1) 教科等の指導 ②総合的な学習 ・表現力を学び、主体的に活動する生徒の育成を図る。	①表現力育成の場の設定 ・「課題発見」「探求」「解決」能力の育成 ・学び方や表現方法の指導 ・主体的な体験活動の実施 ・地域の教材（施設）や人材の活用 ・発表方法を工夫した学習発表会の実施

<p>(1) 教科等の指導</p> <p>③特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の特性を見取り、きめ細やかに対応する。 	<p>①支援を要する生徒の把握と個別の支援計画、効果的な指導法等を作成する。</p> <p>②組織としての機能強化を図るため、定期的な協議の場と場を設定する。（職員研修、ケース会議、保護者への啓発研修会）</p> <p>③支援を要する生徒へのきめ細やかな対応（授業におけるTTの実施）</p>
<p>(2) 教科等以外の指導</p> <p>①生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を身につけさせる。 生徒理解に努め安全・安心な学校生活の充実を図る。 	<p>①基本的な生活習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> 明るく元気で、爽やかなワンストップ挨拶の励行 先輩や教師への節度ある言葉遣い 集団の規律と先を見通した機敏な行動 <p>②教育相談、情報交換を密にした生徒理解と迅速な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報交換（職朝、生徒指導部会等）と教育相談で、積極的な生徒理解に努める。 家庭への連絡・相談と関係機関との連携 いじめ防止基本計画に沿った対応
<p>(2) 教科等以外の指導</p> <p>②道徳教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 思いやりと感謝の気持ちを表現し、よりよく生きようとする態度を育成を図る。 	<p>① 道徳の時間の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> カリキュラムに沿った計画的な道徳授業の実施と効果的な資料の活用 <p>②心の教育の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝読書や昼休みを活用した読書の推進 体験的活動を通じた思いやりと感謝の心の育成 思いやりの心を表現する週間を活用した取り組み <p>③人権意識の高揚</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権及び平和学習（集会）の充実
<p>(2) 教科等以外の指導</p> <p>③特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に活動する生徒会活動の活性化を図る。 夢やあこがれを持たせ、進路指導の充実を図る。 	<p>①生徒会活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師の積極的支援による主体的に活動する生徒会の活性化 係活動、専門部活動の充実 <p>②学校行事の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校行事の主体は生徒であることを自覚させ、活動と表現する場の設定 <p>③進路意識の高揚と能力や適性にあった進路選択</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が理想を持てる進路情報の収集と提供（進路通信の発行） 生徒が未来を語り、夢や希望の実現に向けての進路設計

<p>(2) 教科等以外の指導</p> <p>④健康・安全教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康で安全に生活するための知識や実践力を養う。 	<p>①学校安全体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設、設備の定期的な点検と保全 危機管理マニュアルの確認と機能化 <p>②部活動による心身の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動を通じた技術、体力、精神力（忍耐力）の育成 <p>③望ましい食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 偏食の防止・改善とマナーの確立 栄養職員、養護教諭による指導の充実
<p>(3) 学校運営</p> <p>①学級経営</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人が所属感を持ち、互いに励まし合い高め合う集団づくりを行う。 	<p>①学校教育目標の具現化</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標を具体化した学級目標の設定と実践（目指すゴールの姿を明らかにする） 学級経営録、日録の記録と活用 <p>②学級活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒相互、生徒と教職員の信頼関係の樹立 全員の居場所がある学級づくり TTによる学級活動、給食・短学活指導
<p>(3) 学校運営</p> <p>②校内研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力向上を常に意識し、授業改善に積極的に取り組み、教師としての力量を高める。 	<p>①学力向上への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な授業公開及び参観 言語活動を意識した授業の実践 <p>②現職教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の充実 次期学習指導要領を見越した現職教育の充実
<p>(3) 学校運営</p> <p>③環境美化・施設設備</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習環境の充実と校内の美化環境を積極的に整え、情操教育の充実を図る。 	<p>①学習環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 掲示教育の充実（言語環境の整備） 備品や教材等の計画的購入と管理 早期の営繕・修理の実施 <p>②清潔で美しい学校の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> 師弟同行による清掃指導の徹底 校舎内外の美化 学校環境美化の充実
<p>(3) 学校運営</p> <p>④小中連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中連携を積極的に進め、教育実践の協働を積極的に行う。 <p>⑤開かれた学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に情報を発信し、家庭や地域から信 	<p>①小・中連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中（地域）合同行事の計画と実践 授業公開及び参観（連絡調整） 確実な引継（中1ギャップの防止） <p>②家庭や地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校だより、学級通信、進路通信、保健だより等の発行 P T A活動や地域行事への積極的な参加

<p>頼られる学校づくりをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援会議の積極的な活用 ・ホームページの充実と定期的な更新
<p>(3) 学校運営 ⑥学校事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校事務の効率的・計画的・適切な運用をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①効率的で的確な事務処理 ②教職員との連携を図り、信頼される学校づくりへ参画する。 ③安全点検を実施し、故障・破損箇所の早期発見と修理に努め、活気ある学校づくりの推進を行う。
<p>(3) 学校運営 ⑦めざす教師像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 服務規律に対する意識徹底を徹底する。 ・ チーム奥中の組織の一員であることを自覚し、学校経営についての参画意識を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ①サービスの厳正 <ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい雰囲気、互いが協力しあえる職場づくりをめざす ・ 自分たちの職場から不祥事を絶対に起こさない自覚を持つ。 ②組織の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人が学校経営への参画意識を持つ。 ※当初面談、中間面談等の活用 ・ 学校評価を活用し、PDCA のマネジメントサイクルを生かし、常に成果と課題を明確にする。